津

生産者に届けなければな 国産の良質な飼料を畜産

らない状況にある。

手を差し伸べていただい 長が我々の考えに共感し、

よされを応援し

みち銀

ヤリ で う

報

新

株式会社カスケディア・ 事業所開設に係る基

リンゴジュースの搾りかす活用

た」と黒石に工場を設立

02平方於、

建物の延

トレーディング 株カスケディア・トレー

カスケディア・

「市浅瀬石に丁

ジュースの搾りかすなど 黒石市浅瀬石にリンゴ を活用した飼料を生産す るための工場を開設する

本協定調印式

協定書に調印した市長(右)、 石井代表取締役(中)、

販売等の事業に取り 輸出入のほか、 働を目指す。

かすを供給し、

ティングは、

飼料、

カスケディア・トレー

組んでいる。

さつで「数年前からリン

県商工労働部の三浦雅彦 印式には、髙樋憲市長、 竹鼻社長らが出席。 都市実現に向け、 目指す田園観光産業環境 部長、石井代表取締役、 調印後、市長は「市が 産業会館で行われた調 有機農

を取り巻く環境が日に日

生産に踏み出した。畜産 位性の高いリンゴ飼料の ゴの副産物に着目し、優

に厳しくなっている中、

ディング(本社埼玉県・ 森県りんごジュース株 (竹鼻孝為稚社長)が搾り を結んだ。同市にある青 石井寛文代表取締役)が 県と基本協定 10月の稼 とあいさつ。 とって重要な部分を担っ り組みはこれからの市に 業や一次産業の振興に力 致は非常にありがたい を入れている。カスケディ ていくもので、 ア・トレーディングの取 今回の誘

述べた。 ものと期待している」と や日本の未来に貢献する 発となり海外の畜産市場 の開発は、いずれは青森 石井代表取締役はあい 三浦部長が「国産飼料

黒石市の津軽こけし館 こけし館 軽 阿保工人の月コレ発売

携し、リンゴビーフ、 合に工場の建設を開始し チェンジに近い浅瀬石川 たい」と抱負を語った。 ゆくは食肉メーカーと連 な社会を形成する。 性化を目指し、 の工場で飼料として再生 するに至った経緯を説明 化したブランド化を図り ンゴポークなど黒石に特 今年6月、黒石インター リンゴ搾りかすを我々 事業所敷地は約18 雇用を創出、 持続可能 の製造を計画している。 りかすを乾燥し飼料を生 床面積は約852平方だ。 かけて約500%の飼料 産する。初年度は収穫シ ら供給されたリンゴの搾 を創出する予定。 地元から5人の新規雇用 スン後の10月から12月に 青森県りんごジュースか を提供することが課題で を安全安心な国産のもの に頼っていたリンゴ飼料 とんどを中国からの輸す 同社によると、

夏色」感じてね!

たミニこけ

水色のボー

売した。

福士拓弥館長)が1日 津軽系・阿保正文工人の 駐車場のネコとこけし



に合わせた季節感じる

そのほ

(税込み25

と売り込んで 節を感じて もらえるよう ワクワクと可 しているネフ 毎月月初

リジナル作品 津軽系工人が 予約や江

通称・月コ

月替わりつ

歌手「ゆず きる」こけし きなどに応 し館来館者が 8月は、